

オレンジ express

2018年度・1年学年通信

第11号

6月14日

生駒中学校 山上隆弘

合唱コン終わる!!

どの学級もどの学年もすばらしい!

審査席は1階席のどまん中、みんなの表情もはっきりとわかる位置。どの学年もそうだけど、中でも1学年の並び、立ち姿が自然体で堂々としていて、すべての仲間が同じところを見ている感じがよくわかりました。曲が始まる前にすでに素敵でした。

トッポバッターの1の1、さすがでした。普通は声の出にくいトッポバッター。1の1にはそんな心配は不要でした。今日のすべての学級に勇気をくれました。本当にありがとう!! そして1の5。昨日の終わりの会でいっぱい練習して良かったね。その成果は確実にあらわれてきたね。3番手の1の2、「心痛む思ったとえ君を苦しめても、仲間がここにいて、いつも君を見ている、ぼくらは助け合って生きてゆこう、いつまでも」の2拍子連符からサビのところ、合唱隊とピアノが一体となってよく響いてきましたよ! 校歌も自由曲も、せりやかな一体感で見事な歌い出しとなった1の4。何回ものリハーサルを経て、バランスが

どんどんとれるようになってきましたね。特に自由曲の『アリリテッド』では、曲やアレンジの良さが1の4の雰囲気とあいまって魅力的なステージになりました! さあ、1年生ステージのトリ(しめ)は1の3。どのクラスも全員のリズムがしっかり開いてすばらしいのですが、1の3は誰かに頼らない、1人1人の音圧がしっかりしていました。そしてやはり男子も果敢にチャレンジした「とうさんが残したー、熱い想いー、母さんがくれたあのまなざしー」のファルセットがホール全体を震わせていました。スゴかった。(最優秀賞おめでとう!!)

どの学年にもすごい発表がいっぱい!!

1年生の発表が終わった時、となりで審査されていた先生から「みんなリッショウけんめい歌って、すごいな!」僕も態度点はオール5でした。どの観点にも4割下はなしでした。しかし2年の発表が始まると工夫にあふれたすばらしい発表がいっぱい、中でもルパンがスゴかった。あのテンポの速い16ビートのピアノ伴奏に、シンコペーションだらけの素晴らしい合唱を最後までピッタリ合わせていたのが驚きでしかありません。ムーンライトのふりつけもかわいかった。そして3年、ステージもそうだけど、3年生は音楽的な工夫にあふれてました。ほとんど生徒自らの発案と聞いています。^{特に}「遙か」のクラスの声量、音程、音楽的表現どれもこれも5点満点の審査票にはおさまりにくいものでした。あの勇気とやる気の結晶のようなステージを生駒中全員が来年の目標にしたいですね! (みんなどんな練習をしたんやろ! ドコメントを見ました!)

<この日一番うれしかったこと> 5クラスのみんながしっかり前を向いて堂々とステージに立つこと、そして他学級、他学年の発表を集中して聞いていたこと。この2つこそが全学級金賞の真の価値だと思います。みんな本当にすばらしいです。素敵なお合唱コンをありがとう! そして、おめでとう!!